

令和7年9月定例会一般質問発言通告表

発言 順序	6	議席 番号	5	氏名	赤 池 弘 源 議員	1 / 1
発 言 項 目				要 旨		答 弁 者
1 減塩施策の強化と地域連携による健康支援について				本市では高血圧などの生活習慣病の診療ニーズが高まり、医療費の増加も懸念されている。特に、減塩の大切さがまだ十分に届いていない市民の皆さんは、脳卒中や心疾患などのリスクが高いにもかかわらず、健康づくりの機会に触れることが難しい状況である。 こうした方々にも健康支援が届くようにするためには、特定健診だけでなく企業健診データも活用し、支援が必要な層が見える化することが重要である。その上で、職場など身近な場所での職域講座で減塩チェックや血圧測定などの出前講座を展開することで、より多くの市民に健康づくりのきっかけを届けられると考える。こうした取組についてどのように検討されているか伺う。 (1) 特定健診だけでなく企業健診情報も活用することで、より正確な健康課題の把握が可能になると考える。富士宮市として、企業との健診情報の共有体制や、連携強化に向けた課題認識と今後の方針について伺う。 (2) 富士宮商工会議所が主催する職域健康講座は、職場や地域での減塩意識の向上に寄与する重要な取組である。市として、この講座の推進に向けた支援体制や、今後の展開方針について伺う。 (3) 減塩意識が低い市民層への啓発を進めるには、地元飲食店や小売業者と連携し、香りや旨味を生かした「美味しい減塩」の提案を広げることが有効である。市としての支援体制と今後の展開について伺う。		市長 副市長 教育長 関係部長
2 教員による不祥事を未然に防ぐための管理体制と再発防止策について				皆さんご承知のとおり、近年、全国的に教員による不祥事が相次いで報道されている。朝日新聞のデータベースで調べると、昨年から今年にかけて200件余りの記事が掲載されており、決して珍しい事案ではない。幸いにも本市では発生していないが、事件が起きてからでは遅いと考え。起きる前に現状の対策が十分なのかを問い、必要であれば強化していくことが、こどもたちと保護者の安心につながると考える。そこで以下伺う。 (1) 全国的に発生している教員による不祥事について、市教育委員会としてどのように把握しているのか。 (2) 本市の学校におけるスマートフォンやカメラ機器の使用ルール、校務用端末の使用ルールはどのようになっているのか。 (3) 不祥事防止に関する研修や倫理規範の指導は、現在どのように実施されているのか。		市長 副市長 教育長 関係部長